

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人及び
特別口座の
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
(当社のホームページに掲載いたします。)
(<https://www.maruo-cal.co.jp/>)
但し、電子公告によることができない事故、その他の
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載
いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

単元株式数 100株

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求、買増請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度に関するお知らせ

1.対象となる株主様

2022年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元株(100株)以上を
保有していただいている株主様を対象とさせていただきます。

2.優待の内容

対象となる株主様1名につきクオ・カード1,000円分を
贈呈させていただきます。



 丸尾カルシウム株式会社

〒674-0084 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地

第74期 事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

BUSINESS REPORT



暮らしのすぐそばに

CaCO₃

証券コード：4102

 丸尾カルシウム株式会社



代表取締役社長 丸尾 治男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、ウイルスが変異を繰り返し、感染者数はなお高水準で推移しておりますが、ワクチン接種の進捗とともに重症化は抑制され、世界はコロナウイルスとの共生の道を歩みはじめました。当社におきましても、オミクロン株の出現により、感染者が出たもののごく少数に止まり、生産活動を止めることなく、円滑に事業を継続できております。これもひとえに関係する皆様の感染症対策の徹底のお陰と感謝いたしております。

さて、当社第74期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済につきましては、コロナ対策として量的金融緩和、ゼロ金利政策、現金支給等をいち早く実行してきた米国を中心に景気が回復してまいりました。しかし、コロナ禍で落ち込んだ需要が急回復する中、半導体、資源等の様々な制約により、供給が追いつかず、物流の混乱も加わって、インフレ率が高水準に推移し、インフレ抑制のための金融政策がはじまりました。また、2022年2月にはじまるロシアのウクライナ侵攻という暴挙により、世界は極めて不安定な状況に陥りました。

日本経済についても、ワクチン接種が進み、経済活動は上向いてきたものの、世界に比べ景気回復は遅れており、日銀は異次元の金融緩和を継続せざるを得ず、円安が進行する中、自動車等輸出企業の収益は改善するものの、輸入インフレが顕在化してきました。

このような情勢下において、当社グループにおきましては、感染対策を日常のルールとし、品質の向上と安定供給、リモートワークも取り入れた研究・営業活動に取り組んでまいりました。

売上高はコロナ禍前の水準までには回復していませんが、建築資材向け、輸出等の伸びにより、115億67百万円(前年同期比7億22百万円の増加)となりました。損益面につきましては、下半期からの急激な資源エネルギー価格の高騰により、営業利益は1億38百万円(前年同期比13百万円の減少)、経常利益は2億92百万円(前年同期比14百万円の減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産除却損の減少等があり1億90百万円(前年同期比11百万円の増加)となりました。

当期の期末配当金につきましては、当期の業績並びに今後の経済環境、株主の皆様への安定配当を勘案し、一株につき30円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により、更なる資源価格の高騰、食品の供給制約が予想され、インフレ圧力は強まると予想しております。

当社第75期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)におきましては、「働いて楽しい会社を目指して～自分の役割を見つけ、やり抜く力を持つ～」をテーマに掲げ、下記の5点に重点を置いて経営を進めてまいります。

- ①働く人の安全・安心を確保したうえで、人材の活性化を最優先する仕組み作りを進め、直ちに運用してまいります。
- ②「品質の向上」こそが企業価値を高め、お客様の満足を得る最良の手段であることを、当社グループ全体に浸透させ、行動に移してまいります。
- ③失敗を恐れず新しいチャレンジを継続的に実行するため、若手を中心に「プロジェクトチーム」を多用して経験値を積み、生産・研究開発体制の向上を図ります。
- ④「SDGs」・「ESG」の思想を取り入れた、国内外で通用する世界品質の研究開発・生産・営業体制を確立します。また、2050年のカーボンニュートラルを視野に、炭酸ガス排出量を低減させる燃料への転換に取り組めます。
- ⑤既存のお客様を大切に、その発展に資する製品を供給し続けるとともに、炭酸カルシウムの新しい価値を追求して、世界に提案してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

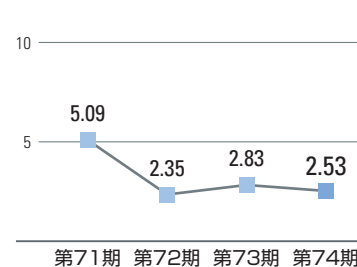
2022年6月

		第71期 (2018.4~2019.3)	第72期 (2019.4~2020.3)	第73期 (2020.4~2021.3)	第74期 当連結会計年度 (2021.4~2022.3)
売上高	(百万円)	12,771	11,869	10,844	11,567
営業利益	(百万円)	514	114	151	138
経常利益	(百万円)	650	279	306	292
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	404	117	179	190
1株当たり当期純利益	(円)	180.53	51.61	80.04	85.74
純資産	(百万円)	8,758	8,940	9,808	9,297
総資産	(百万円)	14,683	15,458	16,596	15,637
有利子負債	(百万円)	1,421	2,494	2,353	1,977
1株当たり純資産額	(円)	3,689.48	3,777.37	4,232.12	3,977.33

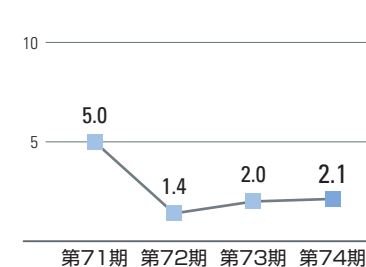
(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数に基づき算出しております。なお、期中平均発行済株式総数及び期末発行済株式総数は、いずれも自己株式数を控除して算出しております。

2. 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第71期の期首から適用しております。
3. 当連結会計年度より「[収益認識に関する会計基準]」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、当連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しております。

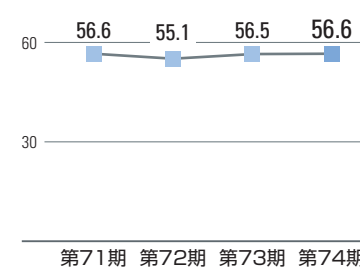
■ 経常利益率 (単位: %)



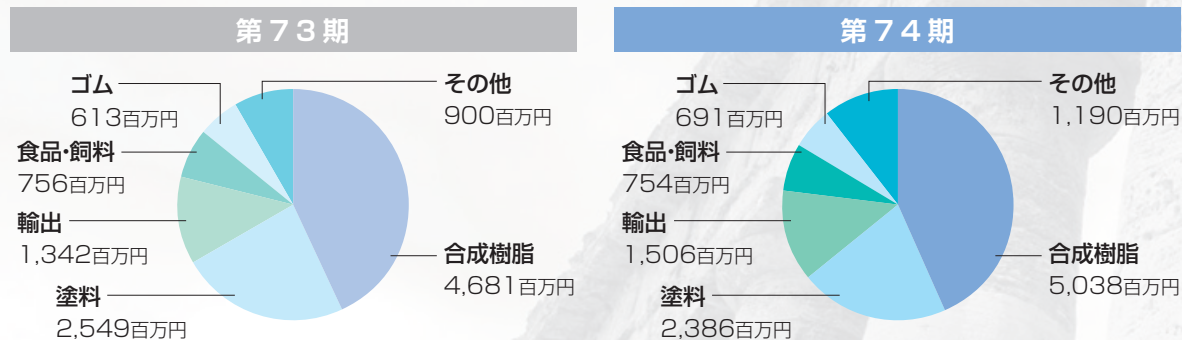
■ ROE (単位: %)



■ 自己資本比率 (単位: %)

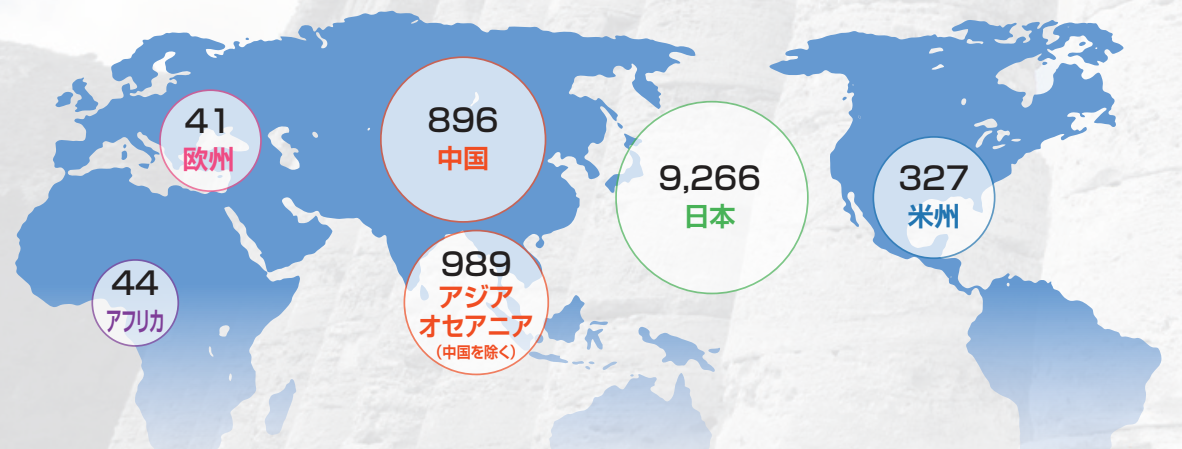


用途別売上高構成



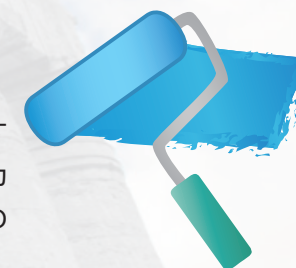
地域別売上高構成(当期)

単位:百万円



こんなところでも・・・

Home Lifeを 快適に CaCO₃



炭酸カルシウム今昔物語

塗料といえば、私たちの生活にもっとも馴染み深く、どこへ行っても目にする材料ですが、その塗料には炭酸カルシウムが沢山使われています。炭酸カルシウムは塗料が綺麗に塗れるように、また、塗料がタレないように縁の下の力持ちの役目をしています。

西洋から入って来たペンキが日本で最初に使われたのは、鎖国政策下の長崎の出島で、オランダ船の修理用塗料を商館に塗ったのが最初であると言われています。古来、日本にも漆塗(縄文前期約5500年前~)や柿渋塗(平安末期~)があり、その品質の高さにより、今もなお使われています。

近年、工事期間短縮などのニーズと石油化学技術の発展により多くの塗料が開発されましたが、SDGsをはじめとする地球環境問題、シックハウス症候群、化学物質過敏症など住環境意識の高まりを背景に、水系塗料をはじめ環境に配慮された塗料の研究が進んでまいりました。その原料にも安心で安全な炭酸カルシウムが使用されています。

炭酸カルシウムは、地球環境や人に優しい素材です。私たち丸尾カルシウム株式会社は、皆様の大切な日常生活を陰で支えるため、これからも一層の努力を重ねてまいります。

株式の状況 (2022年3月31日現在)

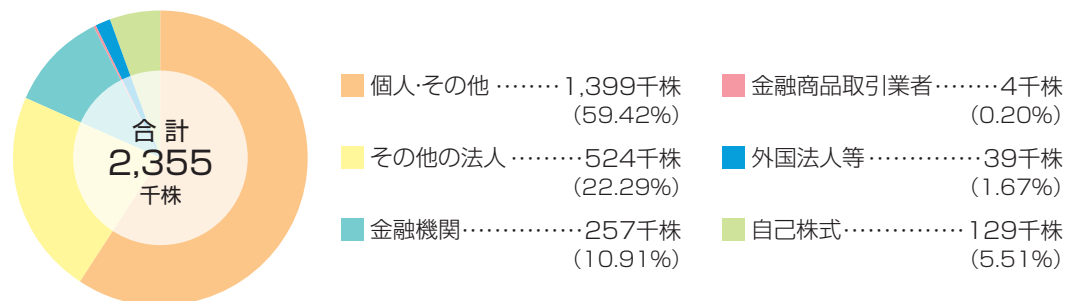
発行可能株式総数 8,000,000株
 発行済株式の総数 2,355,200株
 株主数 1,081名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中国礮業株式会社	249	11.19
丸尾治男	138	6.23
山陽化学産業株式会社	114	5.12
丸尾政雄	87	3.93
株式会社三井住友銀行	76	3.44
大同生命保険株式会社	63	2.84
損害保険ジャパン株式会社	53	2.42
丸尾カルシウム従業員持株会	44	1.98
丸尾直子	42	1.90
丸尾成子	39	1.78

(注) 1.持株比率は、自己株式数(129,739株)を控除して計算し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 2.自己株式は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2022年3月31日現在)

商号 丸尾カルシウム株式会社
MARUO CALCIUM CO.,LTD.
 本社所在地 〒674-0084
 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
 創業 大正15年(1926年)10月1日
 設立 昭和23年(1948年)11月18日
 資本金 8億7,655万円
 従業員数 267名
 事業概要 炭酸カルシウム製造・販売、
 その他無機薬品販売

会社役員及び執行役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長 丸尾 治男
 専務取締役 深津 秀郎
 常務取締役 森下 俊哉
 取締役相談役 今井 一史
 社外取締役 久保 眞治
 常勤監査役 丸尾 雅広
 社外監査役 増田 博明
 社外監査役 石井 隆明
 執行役員 谷井 通宏
 執行役員 柴田 洋志
 執行役員 森 常久
 執行役員 坂口 茂
 執行役員 高垣 充

当社グループ

